

図面番号	意匠図	図面番号	意匠図
1	図面リスト	16	現況・改修後 防水納まり詳細図
2	仕様書（そのⅠ）	17	現況・改修後 雪庇防止柵詳細図
3	仕様書（そのⅡ）	18	現況・改修後 機械室囲い・基礎詳細図
4	仕様書（そのⅢ）		
5	仕様書（そのⅣ）		
6	仕様書（そのⅤ）		
7	仕様書（そのⅥ）		
8	設計概要 工事概要 外部仕上表		
9	配置図 案内図		
10	現況 2階平面図		
11	現況 3階平面図		
12	現況 屋上・PH階平面図		
13	改修後 2階平面図		
14	改修後 3階平面図		
15	改修後 屋上・PH階平面図		

広神コミュニティセンター屋上防水及び雪庇防止等改修工事設計図 令和 3年12月（全18枚）		Ⅱ 特記仕様 1.項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。 2.特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 3.特記事項の記載の[ . . . ]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の( . . . )内表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。 4.製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また( ) 内は製品名を示す。		② 1 騒音・粉じん等の対策 ② 監督員事務所等 ③ 工 事 用 水 ④ 工 事 用 電 力 ⑤ 仮 設 建 物 等 ⑥ 足 場 7 養生 8 仮設間仕切り ③ ① 施工数量調査 ② 防水の保証等 3 アスファルト防水		③ 3 アスファルト防水 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類 シートの厚さ (mm) ・押出成型ポリイソシアヌレート板 ※Ⅰ類 ※Ⅱ類 ※15 x ※12 x ・金属複合板 ※12 x コンクリート仕上りの平坦さ a種 b種 c種 4 改質アスファルトシート防水 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類 シートの厚さ (mm) ・M4AS ・M3AS・POAS ・M3ASI・M4ASI・POASI ・二重ドレンの設置 (POAS工法及びPOASI工法の場合) ・既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (M4AS工法及びM4ASI工法) ・断熱工法の断熱材 厚さ (mm) 材質 ・下地に部分的に密着又は接着を行う工法 ※製造所の標準仕様 ⑤ 合成高分子系「ルーフキング」シート防水 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類 備考 ・POSI工法 ・S4S工法 ・S3S工法 ・M4S工法 断熱工法 ・P1S工法 仕上げ塗料塗り (S-F1、S-F1、S-M1、S-M1の場合) 新規防水層の使用分類 ※非歩行・軽歩行 断熱工法の断熱材 厚さ (mm) 材質 目地処理 (接着工法) ※図示 入隅部の増張り (種別S-F1、S1-F1の場合) 行う (幅 mm程度) ⑥ 塗膜防水 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類 仕上り塗料塗り ・POX ・L4X ・P1Y ・P2Y ・二重ドレンの設置 (POX工法の場合) ・既存塗膜防水層表面仕上げ塗装の除去 (L4X工法の場合) ・保護層 設ける (P1Y、P2Y工法の場合) 7 脱気装置 脱気装置の種類 仕様 材料 ・平面脱気型 ※製造所標準仕様 (立上り型) ※7mm鋼造製 ・立上り部脱気型 ※製造所標準仕様 ※設置数量は製造所指定数量による。	
仕 様 書 Ⅰ 共通仕様 1.本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成 31年版」（以下「改修標仕」という。）により、改修標仕に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版」（以下「標仕」という。）による。 2.改修標仕に用いられている用語を、次のとおり読み替える。 (1)「工事請負契約書」を「新潟県財務規則（昭和57年3月1日新潟県規則第10号）別記（第78条関係）建設工事請負基準約款」（以下「約款」という。）に読み替える。 (2)「監督職員」を「監督員」に読み替える。 (3)「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。 3.次の各号に該当する改修標仕の項目について、改修標仕の規定を別表に置き換えて適用する。 (1)1章 1.1.2用語の定義の(7)、(ㄮ)及び(ㄱ) (2)〃 1.4.2材料の品質等の(1)及び(2) (3)〃 1.4.4材料の検査等の(1) (4)〃 1.7.1工事検査の(2)及び(3) 4.改修標仕の次の項目の規定は適用しない。 1章 1.1.2 用語の定義の(ㄴ) 〃 1.7.2 技術検査 別 表（建築改修工事） 号 項 目 置 き 換 え 後 の 改 修 標 仕 の 規 定 (1) 1章 一般共通事項 (1) 1.1.2 用語の定義 (7)「監督員」とは、約款第10条に基づき受注者に通知された者をいう。 (ㄮ)「書面」とは発行年月日が記載され、署名又は押印された文書、及び新潟県CALSシステム上で電子決済処理された電磁的記録をいう。 (ㄱ)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。 (ただし、②に係る検査を除く。) ①工事の完成（約款第32条） ②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等（約款第38条） ③部分引渡しの指定部分に係る工事の完成（約款第39条） ④契約の解除時における出来形部分（約款第48条） ⑤必要があると認めたとときの臨時検査（約款第50条） (2) 1.4.2材料の品質等 (1)工事に使用する材料は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（一般社団法人公共建築協会）契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、新品とする。ただし、設計図書に定めのある場合は、この限りでない。 なお、「新品」とは、品質及び性能が製造所から出荷された状態であるものを指し、製造者による使用期限等の定めがある場合を除き、製造後一定期間以内であることを条件とするものではない。 (2)使用する材料が設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合(次の(7)から(ㄱ)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。 ) は、この限りでない。 (7)建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (ㄱ)建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品（特記で改修標仕及び標仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。） (ㄱ)特記により指定された材料又は製造者の製品 (3) 1.4.4 材料の検査等 (1)工事現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。 ただし、次の(7)若しくは(ㄱ)に該当する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (7)工事完成検査時又は工事写真で、JIS若しくはJASのマークを確認できる場合 (ㄱ)建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時又は工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合 (4) 1.7.1 工事検査 (2)約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (3)(1)の通知又は(2)の請求に基づく検査及び約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。		章 項 目 特 記 事 項 ① ① 工事実績情報 ※請負工事費500万円以上の場合、登録する 2 概成工期 ※無し ・有(工期 令和 年 月 日) 3 内部の工事期間等 ※着手 令和 年 月 日 ～ 終了 令和 年 月 日までとする。 ※工事請負約款第34条に基づき、部分使用承諾書により、施設内部の使用を開始する。 ※次の作業は内部工事着手前に行える。ただし、着手日、作業箇所は施設及び監督員と協議のうえ決定する。 ※外部足場組等の仮設工事 ※工場制作のための現場寸法調査 4 品質計画等 建築基準法に基づき指定する条件 ・地区の区分に応じた風速 (Vo (m/sec) ) ・ 3.0 ・ 3.2 ・地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ ・多雪地域の指定 積雪区分 建造示第1455号 別表 ( ) 5 監視技術者の要件 ※建築工事に係る監視技術者証を有するもので、次のいずれかの要件を満たす監視技術者を専任で配置できること。 1 建築工事の施工に関し、10年以上の実務経験を有すること。 2 一級建築士又は一級建築施工管理技士の資格取得後4年以上の実務経験を有すること。 6 電気保安技術者 ※要 ⑦ 発生材の処理等 10追加特記 7「発生材の処理等」による。 ⑧ 特別な材料の工法 改修標仕及び標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定工法による。 9 施工数量調査の方法 目視及び打診(必要に応じて破壊)による調査を行う。調査範囲及び調査内容は各章による。 ⑩ 技能士 適用工事種別 技 能 検 定 の 職 種 防水改修工事 ・アスファルト防水工事作業 ○合成ゴム系シート防水工事作業 ○塗膜防水工事作業 ○「ルーフキング」防水工事作業 ○左官 ・建築板金(内外装板金作業) 外壁改修工事 ・左官 ・タイル張り ○塗装(建築塗装作業) ・樹脂接着剤注入施工 建具改修工事 ・サッシ施工 ・ガラス施工 内装改修工事 ・建築大工 ・左官 ・表装(壁装作業) ・内装仕上げ施工 (・フローリング系床仕上げ ・ボード 仕上げ ・鋼製下地工事) ・タイル張り 塗装改修工事 ・塗装(建築塗装作業) 耐震改修工事 ・とび ・型枠施工 ・鉄筋施工 環境配慮改修工事 ・防水施工(アスファルト防水工事作業) ・ガラス施工 ・造園 ブロック、ALC、タイル工事 ・ブロック建築 ・ALC、タイル施工 石工事 ・石材施工(石張り施工) 11 見本施工 ※実施する 12 化学物質の濃度測定 10追加特記 8「化学物質の濃度測定」による。 ⑬ 完成図等 ※下記のものを作成し提出する。なお、作成方法等は、監督員の指示による。 ○案内図及び配置図 ○平面図 ○立面図 ○断面図 ○仕上表 ○建物の保全に関する説明書(取扱説明書を含む。) ○その他図面 ※竣工図 (A1 1部 A3 2部) ○CADデータ ⑭ 施工図等の取扱 施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。 ⑮ 工事完成写真 ※同一箇所の改修前と改修後が比較出来るように整理のうえ監督員に提出する。 ※提出部数 部 ⑯ 工事施工状況写真 ※工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領(平成28年版)による工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(平成30年版)」を参考に、撮影計画書を作成して、監督員に提出する。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略できる。 ※提出部数 1部 (データは2部) 17 設備工事との取合い 10追加特記 6「工事区分表」による。					
更 改		一級建築士事務所 新潟県知事登録 (リ) 1359号 株式会社 関矢設計事務所 郵便番号 946-0111 新潟県魚沼市並柳182番地 電 025-799-2122		管理建築士 一級建築士 第228811号 関 矢 茂 信		工事名称 広神コミュニティセンター屋上防水及び雪庇防止等改修工事 年月日 2021 12 図面名称 仕様書(そのⅠ) 縮尺 A1版 S-1/100 A3版 S-1/200 ⑤ 電 機 構 機 2 / 18	

③

⑧

防水改修工事

シーリング

改修工法の種類

施工箇所

○シーリング充填工法  
・シーリング再充填工法  
・拡幅シーリング再充填工法  
・ブリッジ工法

シーリング材の種類及び施工箇所  
※下表以外は、改修標仕表3.7.1を標準とする

施工箇所

シーリング材の種類（記号）

接着性試験

※簡易接着性試験 ・引張接着性試験（対象施工部位）  
ただし試験成績書を監督員に提出し、承諾を得た場合は試験を省略できる

撤去既存シーリングの処理

事前調査等 ・行う（下記の詳細を分析する） ・行わない  
現場においてサンプルを採集し、専門分析機関で分析を行う。  
採取箇所 ※外壁目地 ・建具周囲目地 ・図示  
採取箇所数 ・部材が異なる毎に1箇所 ・図示

分析によりPCBの含有が確認された場合は、下記により施工調査等を行い、適切に処理を行う  
調査範囲 ※今回改修工事範囲全て ・図示  
調査内容 シーリング使用部位及び長さの確認  
施工範囲と工事監理区分の確認  
仮設計画  
廃棄物等の撤出方法

9

とい

材種

・配管用鋼管 ※硬質塩化ビニル管 ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管  
多雪地域の軒どい取付け間隔  
・適用する（0.5m以下） ・適用しない

鋼管製といの防露  
※改修標仕表3.8.4による  
たてどい受け金物の取付け ※図示 ・標仕13.5.3(4)による [3.8.3](13.5.3)

⑩

アルミニウム製笠木

アルミニウム製笠木の種類

形式 種類 幅(mm) 板厚(mm) 表面処理・色合い 固定間隔 下地補修

・250形  
・300形  
・350形  
・板材折曲げ形  
・板材折曲げ形

・B-A-1  
・B-A-2  
・ブランク系  
・ブランク  
・スタンダード

建築基準法に基づく指定する条件により定める  
※行う（図示）  
・行わない

板材折曲げ形アルミニウム製笠木の取付工法

笠木の固定金具は改修標仕3.9.3(2)(7)とし、それ以外の取付方法は図示による

4-1

外壁改修工事共通事項

1

施工数量調査

下記の劣化状況調査の結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。  
調査範囲  
仕上塗材仕上りの下地となる外壁、庇等の躯体コンクリート面、既存モルタル、タイル等の面  
調査内容  
ひび割れの幅及び長さを壁面に図示する。  
ひび割れの挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。  
浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの剥離・剥落など欠陥部分を調査する。  
コンクリートの表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。  
仕上塗材等の劣化部分、剥落部等を壁面に表示する。  
新規仕上塗材の美観に影響を与えるおそれのある段差部等を壁面に表示する。

2

外壁改修の保証等

※外壁改修工事（劣化状況調査、劣化部補修及び下地処理、シーリング、仕上塗材仕上）は、新潟県外壁補修工事業協同組合員（以下、「組合員」という。）の施工とする。  
ただし、やむを得ない場合は、劣化部補修を組合員以外の施工とすることができる。その場合は、組合員の施工指示による。  
※外壁改修工事について、受注者は新潟県外壁補修工事業協同組合と連名の保証書を提出する。 ※コンクリートブロック造の外壁は保証対象範囲外

種類

保証範囲

保証期間

防水型複層塗材E（JIS-A6909）

外壁下地・塗装面

10年

外装薄塗材E（JIS-A6909）

外壁下地ののみ

10年

4-2

コンクリート打放し仕上り外壁改修工事

1

ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法

注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m)

※自動式低圧注入樹脂 0.2以上～1.0以下 ※200～300 ※130  
樹脂注入工法  
・手動式注入樹脂 0.2以上～0.3以下 ※50～100 ※40  
樹脂注入工法 0.3超え～0.5以下 ※100～200 ※70  
・機械式注入樹脂 0.5超え～1.0以下 ※150～250 ※130  
樹脂注入工法  
注入材料  
※建築補修用及び建築補強用樹脂（JIS A6024低粘度形又は中粘度形）  
・図示  
検査（コア抜き）  
※行わない  
・行う 抜き取り部の補修方法  
※充填工法（・注入樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル）

2

欠損部改修工法

※充填工法

充填材料 ※ポリマーセメントモルタル  
モルタル塗替え工法  
・現場調査材料  
（モルタルは本特記仕様書8-1、8-2「セメントの種類」による）  
・既調査材料（  
仕上り厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処理  
※ステンレス製アンカーを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ステンレス等を張る。  
・図示  
既製目地材 ・適用する（形状 ※図示 ・）

4

浮き部改修工法

モルタルを撤去しない場合

アンカーの本数(本/m) 注入口の箇所数(箇所/m) 注入量

一般部 指定部 一般部 指定部 (ml/箇所)

・アンカーニング部分注入樹脂 16 25 25 25  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面注入樹脂 13 20 12 20  
・アンカーニング全面





8-2	1	コンクリートの類別及び強度、品質 耐震改修工事	レディーミクストコンクリートの類別 ※Ⅰ類　Ⅱ類 普通コンクリートの設計基準強度 ※普通コンクリートの強度は構造標準図による コンクリートの仕上りの平たんさ　・a種　・b種　・c種	[8. 1. 3][表8. 1. 1] [8. 1. 3][8. 1. 4] [8. 1. 4][表8. 1. 5]	8-2	14	連続繊維シート巻き	材料・形状 採用した工法の規定を満足するもの 材質 引張り強度(含浸硬化後) ・2500N/mm <sup>2</sup> 以上 ・3000N/mm <sup>2</sup> 以上 ヤング係数(含浸硬化後) ・2.35×10 <sup>4</sup> N/mm <sup>2</sup> 程度 ・2.00×10 <sup>4</sup> N/mm <sup>2</sup> 以上 工法 ※(財)日本建築防災協会の評価を受けた工法 ・ 下地調整 仕上げモルタルの除去　※行う　・行わない 柱及び梁の隅角部の面取り ※工法の評価内容による ・	[8. 2. 13]	8-2	27	耐火被覆	<table><tr><th colspan="2">種　別</th><th>所要性能及び適用構造区分</th></tr><tr><td>・耐火材吹付け</td><td>・乾式吹付けロックール ・半乾式吹付けロックール ・湿式ロックール ・</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・耐火板張り</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・耐火材巻付け</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・ウレタンモルタル塗り</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・耐火塗料</td><td></td></tr></table> 耐火性能 ※建築基準法の規定に基づく所定の性能を有すること。	種　別		所要性能及び適用構造区分	・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックール ・半乾式吹付けロックール ・湿式ロックール ・		・耐火板張り			・耐火材巻付け			・ウレタンモルタル塗り			・耐火塗料			[8. 18. 2]	9	1	石綿含有建材の処理	※建築物の解体工事、アスベスト除去について、以下の基準を適用する。 ・建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にはばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針(平成26年3月31日付け　技術上の指針公示第21号) ・石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル[2. 20版]　平成30年3月(厚生労働省) ・建築物の解体工事における石綿粉じんへのばく露防止マニュアル(建設労働災害防止協会) ・建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル2014. 6(環境省水・大気環境局大気環境課) ・石綿含有仕上塗材の除去等作業における石綿飛散防止対策について(平成29年5月30日付け　環水大大発第1705301号)							
			種　別					所要性能及び適用構造区分																																			
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックール ・半乾式吹付けロックール ・湿式ロックール ・																																										
・耐火板張り																																											
・耐火材巻付け																																											
・ウレタンモルタル塗り																																											
・耐火塗料																																											
2	鉄骨製作工場	・監督員の承諾する製作工場 ・建築基準法第77条の4第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた　㈱日本鉄骨評価センター又は　㈱全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「　グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場	[8. 1. 5]	28	溶融垂鉛メッキ高力ボルト接合	摩擦面の処理 ※プラスチック処理 ・りん酸塩処理	[8. 20. 5]	2	石綿含有吹付け材の除去	除去工法 ※改修標準仕9. 1. 3による。	[9. 1. 3]																																
3	施工管理技術者	※適用する	[8. 1. 6]	29	既存コンクリート面の目荒し	目荒らしの程度 ※柱・梁面　打継ぎ面の15～30%程度 ※増打ち壁増設　既存壁打継ぎ面の10～15%程度 ※平均深さ2～5mm(最大5～7mm)程度の凹部を施す ・監督員の指示による	[8. 21. 3]	3	石綿含有保温材等の除去	除去工法 ※粉じん飛散抑制剤等による潤滑化の後、手ばらしで行う。 ・掻き落し・破碎・切断等による除去を行う。 ※9. 1. 3 [石綿含有吹付け材の除去]により、作業場を隔離する。	[9. 1. 4]																																
4	鉄筋の種類	<table><tr><th colspan="2">種類の記号</th><th>呼　　び　　名　(mm)</th></tr><tr><td>・SD295A</td><td></td><td>・D16以下</td></tr><tr><td>・SD345</td><td></td><td>・D19以上</td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table>	種類の記号		呼　　び　　名　(mm)	・SD295A		・D16以下	・SD345		・D19以上	・			[8. 2. 1][表8. 2. 1]	30	増設・補強工事のコンクリートの打込み	工法の種類 ※流し込み工法 ・圧入工法	[8. 21. 8][8. 23. 5]	4	石綿含有成形板の除去	養生等 建物内部で除去を行う場合、除去作業場所と他の場所を隔てるため、開閉部位(出入口、換気口、窓等)は閉とし、ガラスの破損箇所等で開となっている部位を養生シート等で塞ぐ。 石綿含有成形板の種類 <table><tr><th>材　料　名</th><th>使　用　部　位</th><th>厚さ(mm)</th><th>備　考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	材　料　名	使　用　部　位	厚さ(mm)	備　考																	[9. 1. 5]
種類の記号		呼　　び　　名　(mm)																																									
・SD295A		・D16以下																																									
・SD345		・D19以上																																									
・																																											
材　料　名	使　用　部　位	厚さ(mm)	備　考																																								
5	溶接金網	網目の形状、寸法及び鉄線の径 網目の形状、寸法(たて×よこ)　鉄線の径または呼び(mm) ※100×100　※6. 0 ・ ・	[8. 2. 2]	31	柱補強	溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 柱頭柱脚の隙間部間の型枠 ※ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む　・図示	[8. 23. 5]	5	除去した石綿等の処分等	除去した石綿等の処理 ※各種廃棄物分類に応じた最終処分場で埋立処分 ・中間処理 ・アスベストの中間処理に適する溶融施設において溶融処理 ・大臣認定を受けた無害化処理施設において無害化処理	[9. 1. 3][9. 1. 4][9. 1. 5]																																
6	あと施工フックの材料	あと施工フックの材料 ・金属拡張フック ※接着系フック　　加工モルタルの種類　※有機系	[8. 2. 4]	32	スリットの施工	幅　　※30mm～50mm程度　・　　長さ　　※300mm以上 形状　　※完全スリット(※既存鉄筋切断　・既存鉄筋を　本残す) ・部分スリット(既存コンクリートを厚さ50mm程度残す) 撤去部の補修　・撤去材と同一材 ※無収縮モルタル(圧縮強度30N/mm <sup>2</sup> 以上)	[8. 25. 2]	6	断熱スラット防水改修	工法の種類 ・P1B1 ・P2A1 ・POD1 ・T1B1 ・M3D1 ・M4D1	[9. 2. 3]																																
7	セメントの種類	※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、沈降セメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・普通エコセメント ・高炉セメントB種(　) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。 <table><tr><td>水和熱</td><td>7 d</td><td>352J/g以下</td></tr><tr><td></td><td>28 d</td><td>402J/g以下</td></tr></table>	水和熱	7 d	352J/g以下		28 d	402J/g以下	[8. 2. 5][表8. 2. 3]	9	1	石綿含有建材の処理	施工調査 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する 調査範囲　・　・図示 貸与資料　・  分析による石綿含有建材の調査　・行う　・行わない 分析方法 <table><tr><th rowspan="2">材　料　名</th><th>定性分析方法</th><th>定量分析方法</th></tr><tr><td>JIS A 1481-1またはJIS A 1481-2</td><td>JIS A 1481-3またはJIS A 1481-4</td></tr><tr><td></td><td>・　　箇所</td><td>・　　箇所</td></tr><tr><td></td><td>・　　箇所</td><td>・　　箇所</td></tr><tr><td></td><td>・　　箇所</td><td>・　　箇所</td></tr></table>	材　料　名	定性分析方法	定量分析方法	JIS A 1481-1またはJIS A 1481-2	JIS A 1481-3またはJIS A 1481-4		・　　箇所	・　　箇所		・　　箇所	・　　箇所		・　　箇所	・　　箇所	[9. 1. 1]	7	外断熱改修	既存外壁材の撤去　・行う　・行わない 下地面の清掃　・行う　・行わない 断熱材を設置する部分の地下に欠損部がある場合 ※4. 1. 4 [外壁改修工法の種類]による 建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を 改修標準仕1. 2. 2[施工計画書]による品質計画で定める。 不陸等の下地調整　・ 断熱材の施工　・断熱材製造所の仕様による　・ 外装材の施工　・外装材製造所の仕様による　・ 通気層　・設ける(厚さ：　mm)　・設けない 外装材の外壁への取付け　・図示　・	[9. 3. 2]											
水和熱	7 d	352J/g以下																																									
	28 d	402J/g以下																																									
材　料　名	定性分析方法	定量分析方法																																									
	JIS A 1481-1またはJIS A 1481-2	JIS A 1481-3またはJIS A 1481-4																																									
	・　　箇所	・　　箇所																																									
	・　　箇所	・　　箇所																																									
	・　　箇所	・　　箇所																																									
8	骨材の品質	70℃以上反応性による区分 ・A ※B(コンクリート中の70℃総量Rt=3. 0kg/m <sup>3</sup> )	[8. 2. 5]	10	型枠	スラブの材料、規格等　・図示	[8. 2. 7]	8	ガラス改修	本特記仕様　5　建具改修　17　ガラスによる	[9. 4. 2]																																
9	混和材料の種類	※混和剤 ・混和材(※JIS A 6202による膨脹材　・　)	[8. 2. 5]	11	鋼材	鋼材の材質 種類の記号　適用箇所　規格等 ・SS400　※JIS規格による ・SN400B　※JIS規格による ・ ※JIS規格による	[8. 2. 8][表8. 2. 7]	9	断熱・防露改修	断熱材打込み工法の材料 ・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材　・硬質ウレタンフォーム断熱材 ・押出法ポリスチレンフォーム断熱材　・フェノールフォーム断熱材　・ポリスチレンフォーム断熱材 断熱材現場発泡工法の材料 ※A種1又はA種1Hとし、難燃性を有するものとする。吹付け厚さ　mm	[9. 5. 2]																																
10	型枠	スラブの材料、規格等　・図示	[8. 2. 7]	12	高力ボルト	高力ボルトの適用 ※トルク形高力ボルト　・JIS形高力ボルト　・溶融亜鉛めっき高力ボルト	[8. 2. 9]	10	屋上緑化改修	工法 ※「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日付　建設省告示第1458号)による風圧力に対応した固定工法を改修標準仕1. 2. 2[施工計画]で定める。 かん水装置　・設置する(図示による)　・設置しない 既存保護層等の撤去　・行う　・行わない 枯補償及び枯損処理 ※引渡しの日から1年間　・　年間　・　年　月　日まで	[9. 6. 3]																																
11	鋼材	鋼材の材質 種類の記号　適用箇所　規格等 ・SS400　※JIS規格による ・SN400B　※JIS規格による ・ ※JIS規格による	[8. 2. 8][表8. 2. 7]	13	モルタル及びグラウト材	柱底均しモルタル ※無収縮モルタル ・ グラウト材 ※無収縮グラウト材 ※プレミックス形　・現場調合形  無収縮モルタルの品質及び試験方法 [表8. 2. 10] ブリーディング　・練混ぜ2時間後のブリーディング率：2. 0%以下 無収縮性　・材齢　7日：収縮しない 圧縮強度　・材齢　3日：　N/mm <sup>2</sup> 以上 ・材齢28日：　N/mm <sup>2</sup> 以上 コンスタンシー　・JIS A 1132(コンクリートの強度試験用供試体の作り方)に準じて、直径50mm、高さ100mmの円柱とする。圧縮試験は、JIS A 1108(圧縮強度の試験方法)により行う。 ・図示による。	[8. 2. 12] [8. 2. 12] [表8. 2. 10]	11	透水性スラット舗装改修	既存舗装の撤去 <table><tr><th colspan="2">舗　装　撤　去　箇　所</th><th colspan="2">再　利　用　す　る　層</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	舗　装　撤　去　箇　所		再　利　用　す　る　層														[9. 7. 2]																
舗　装　撤　去　箇　所		再　利　用　す　る　層																																									
仕様書(そのV) Ver. 020401																																											

一級建築士事務所　新潟県知事登録　(リ) 1359号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　TEL 025-799-2122				管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信		工事名称 広神コミュニティセンター屋上防水及び雪庇防止等改修工事 年度 2021 12 図面名称 仕様書(そのV)		年月日 2021 12 縮尺 A1版 S=1/100 A3版 S=1/200		図面番号 6/18 電 機 機	
--	--	--	--	------------------------------------	--	--	--	--	--	-----------------------------	--

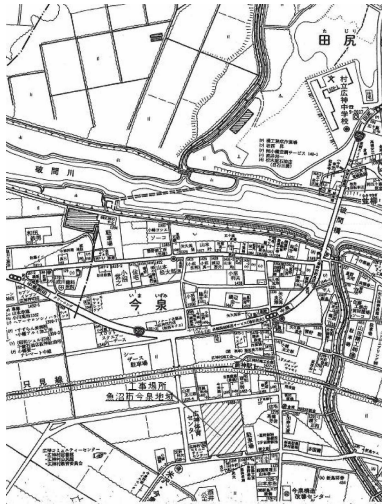
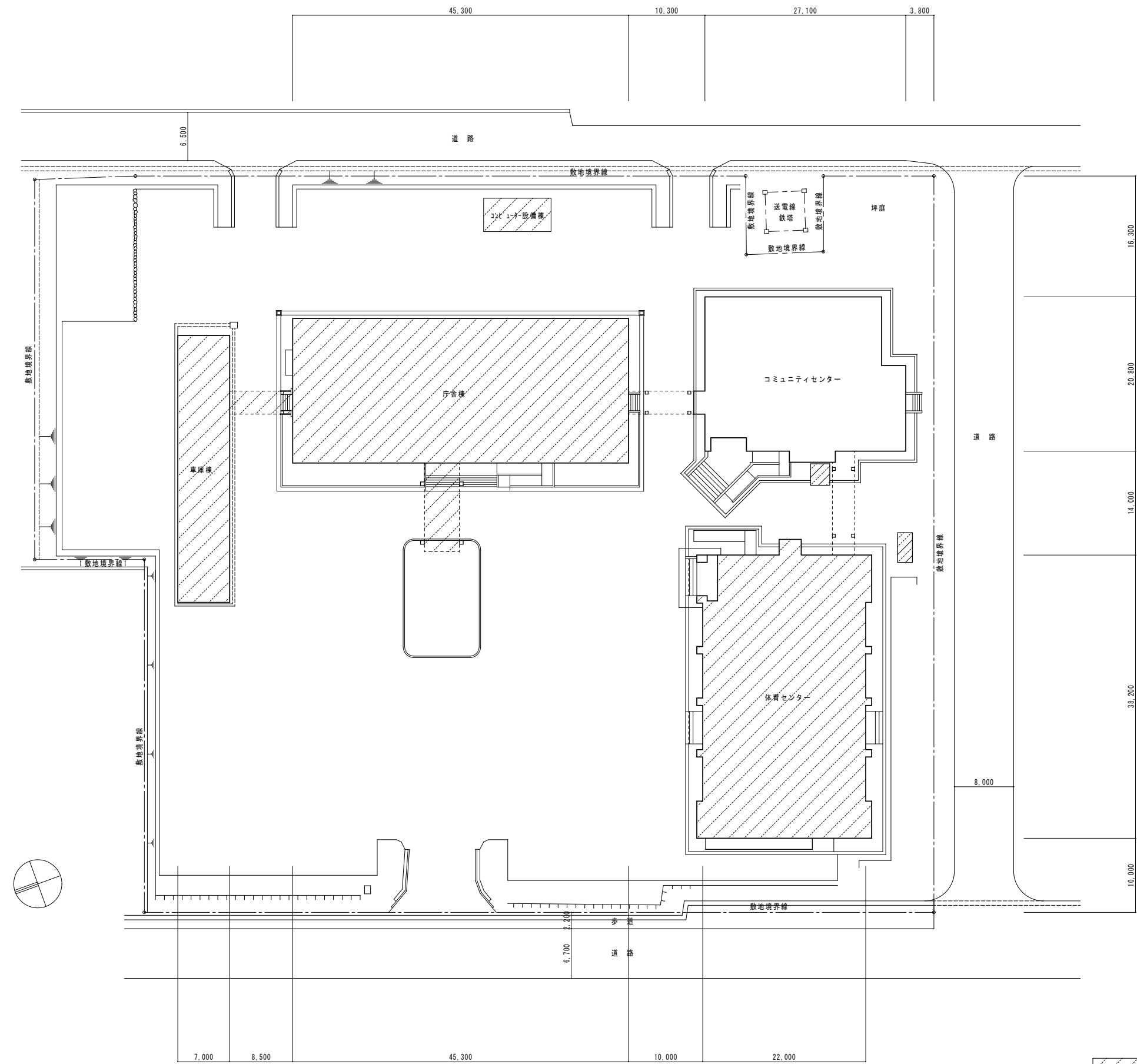




設計概要		工事概要	
工事名称	広神コミュニティセンター屋上防水及び雪庇防止等改修工事	コミュニティセンター棟	屋上階防水改修、PH階防水改修、ポーチ屋根防水改修、南側玄関屋根防水改修、雪庇防止柵取付
工事場所	魚沼市今泉1488-1	渡り廊下棟	屋根防水改修、雪庇防止柵取付
工事種別	改修工事		
建物用途	コミュニティセンター		
構造・規模 コミュニティセンター棟 RC・SRC造 3階建 延床面積 1,645.32 m <sup>2</sup> 渡り廊下(A)棟 S造2階建 延床面積 30.90 m <sup>2</sup> 渡り廊下(B)棟 S造2階建 延床面積 37.80 m <sup>2</sup>			

外部仕上表						
コミュニティセンター棟 屋上階防水	改修前	平面 コンクリート打（増打t=30）金コテ下地塩ビシート防水 t=2.0	雪庇防止柵 基礎	改修前	なし	
		立上り コンクリート打放し補修の上塩ビシート防水 t=2.0				
	改修後	平面・立上り 既存塩ビシート防水 t=2.0撤去 平面・立上り 高圧水洗浄 平面・立上り部 ポリマー系樹脂モルタル下地補修 平面 クラック処理 Uカットシーリング		改修後	新規基礎コンクリート打	
		平面 塩ビシート防水 t=2.0 立上り部 塩ビシート防水 t=2.0			天端 コンクリート打金コテ押え下地ウレタン塗膜防水 側面 コンクリート打放し 補修下地ウレタン塗膜防水	
コミュニティセンター棟 PH階屋上防水	改修前	平面 コンクリート打（増打t=30）金コテ下地塩ビシート防水 t=2.0	雪庇防止柵	改修前	屋上に取付（既存図示）	
		立上り コンクリート打放し補修の上塩ビシート防水 t=2.0				
	改修後	平面・立上り 既存塩ビシート防水 t=2.0撤去 平面・立上り 高圧水洗浄 平面・立上り部 ポリマー系樹脂モルタル下地補修 平面 クラック処理 Uカットシーリング		改修後	既存雪庇防止柵撤去	
		平面 塩ビシート防水 t=2.0 立上り部 塩ビシート防水 t=2.0			屋上・PH屋上・玄関ポーチ屋根・渡り廊下（A）新規雪庇防止柵取付 （屋上平面図 図示）	
コミュニティセンター棟 ポーチ屋根防水	改修前	平面 コンクリート打（増打t=30）金コテ下地塩ビシート防水 t=2.0	ドレイン	改修前	ヨコ引きドレイン 14ヶ所 タテ引きドレイン 2ヶ所	
		立上り コンクリート打放し補修の上塩ビシート防水 t=2.0				
	改修後	平面・立上り 既存塩ビシート防水 t=2.0撤去 平面・立上り 高圧水洗浄 平面・立上り部 ポリマー系樹脂モルタル下地補修 平面 クラック処理 Uカットシーリング		改修後	各ドレン撤去	
		平面 塩ビシート防水 t=2.0 立上り部 塩ビシート防水 t=2.0			ヨコ引きドレイン 14ヶ所新設 タテ引きドレイン 1ヶ所改修用ドレン新設	
コミュニティセンター棟 南側玄関屋根防水	改修前	平面 コンクリート打（増打t=30）金コテ下地塩ビシート防水 t=2.0				
		立上り コンクリート打放し補修の上塩ビシート防水 t=2.0				
	改修後	平面・立上り 既存塩ビシート防水 t=2.0撤去 平面・立上り 高圧水洗浄 平面・立上り部 ポリマー系樹脂モルタル下地補修 平面 クラック処理 Uカットシーリング				
		平面 塩ビシート防水 t=2.0 立上り部 塩ビシート防水 t=2.0				
渡り廊下(A)棟 屋根防水	改修前	平面 コンクリート打（増打t=30）金コテ下地塩ビシート防水 t=2.0				
		立上り コンクリート打放し補修の上塩ビシート防水 t=2.0				
	改修後	平面・立上り 既存塩ビシート防水 t=2.0撤去 平面・立上り 高圧水洗浄 平面・立上り部 ポリマー系樹脂モルタル下地補修 平面 クラック処理 Uカットシーリング				
		平面 塩ビシート防水 t=2.0 立上り部 塩ビシート防水 t=2.0				
渡り廊下(B)棟 屋根防水	改修前	平面 コンクリート打（増打t=30）金コテ下地塩ビシート防水 t=2.0				
		立上り コンクリート打放し補修の上塩ビシート防水 t=2.0				
	改修後	平面・立上り 既存塩ビシート防水 t=2.0撤去 平面・立上り 高圧水洗浄 平面・立上り部 ポリマー系樹脂モルタル下地補修 平面 クラック処理 Uカットシーリング				
		平面 塩ビシート防水 t=2.0 立上り部 塩ビシート防水 t=2.0				

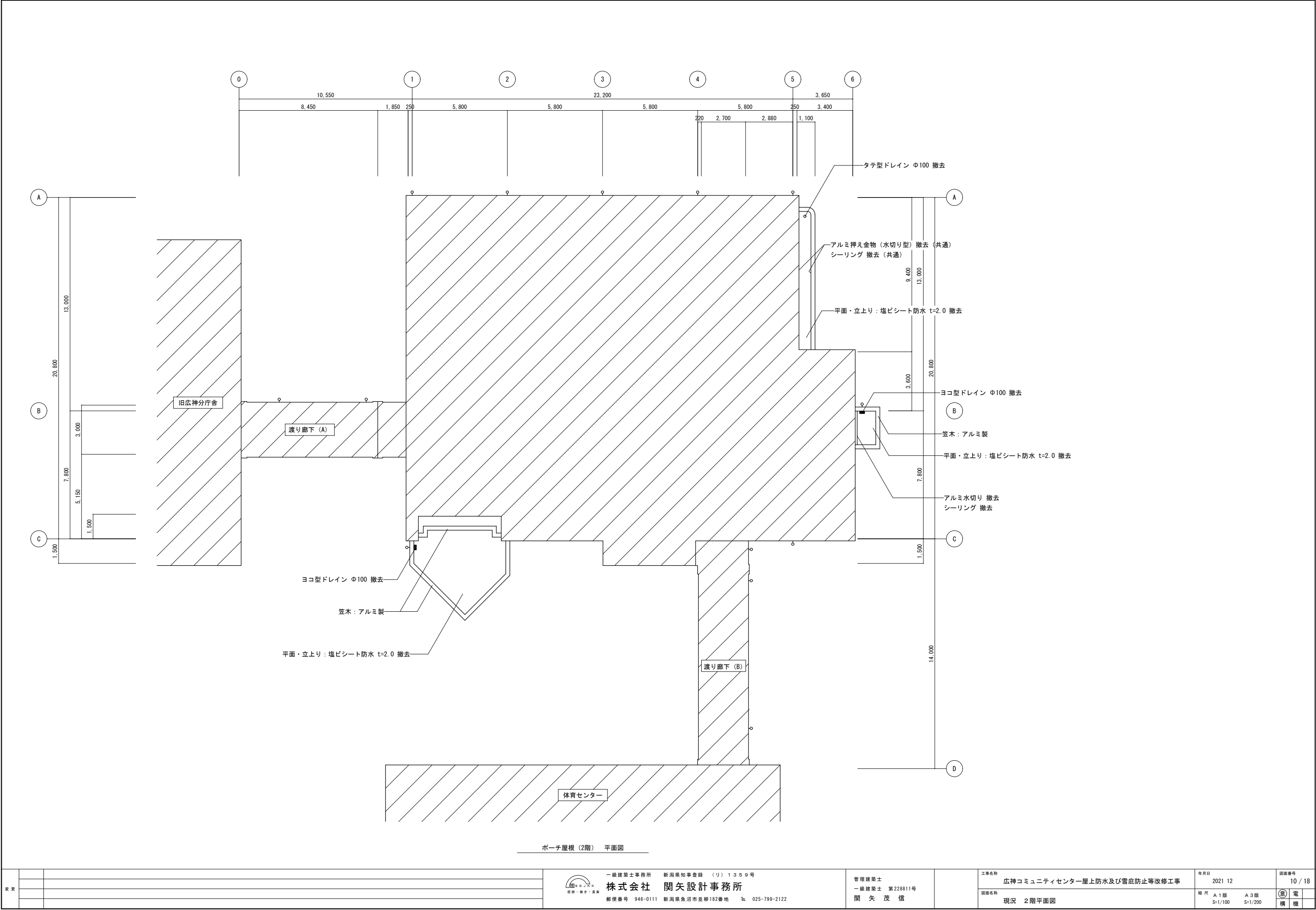




附近見取り図

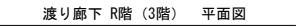
今回屋上改修工事の範囲外部分

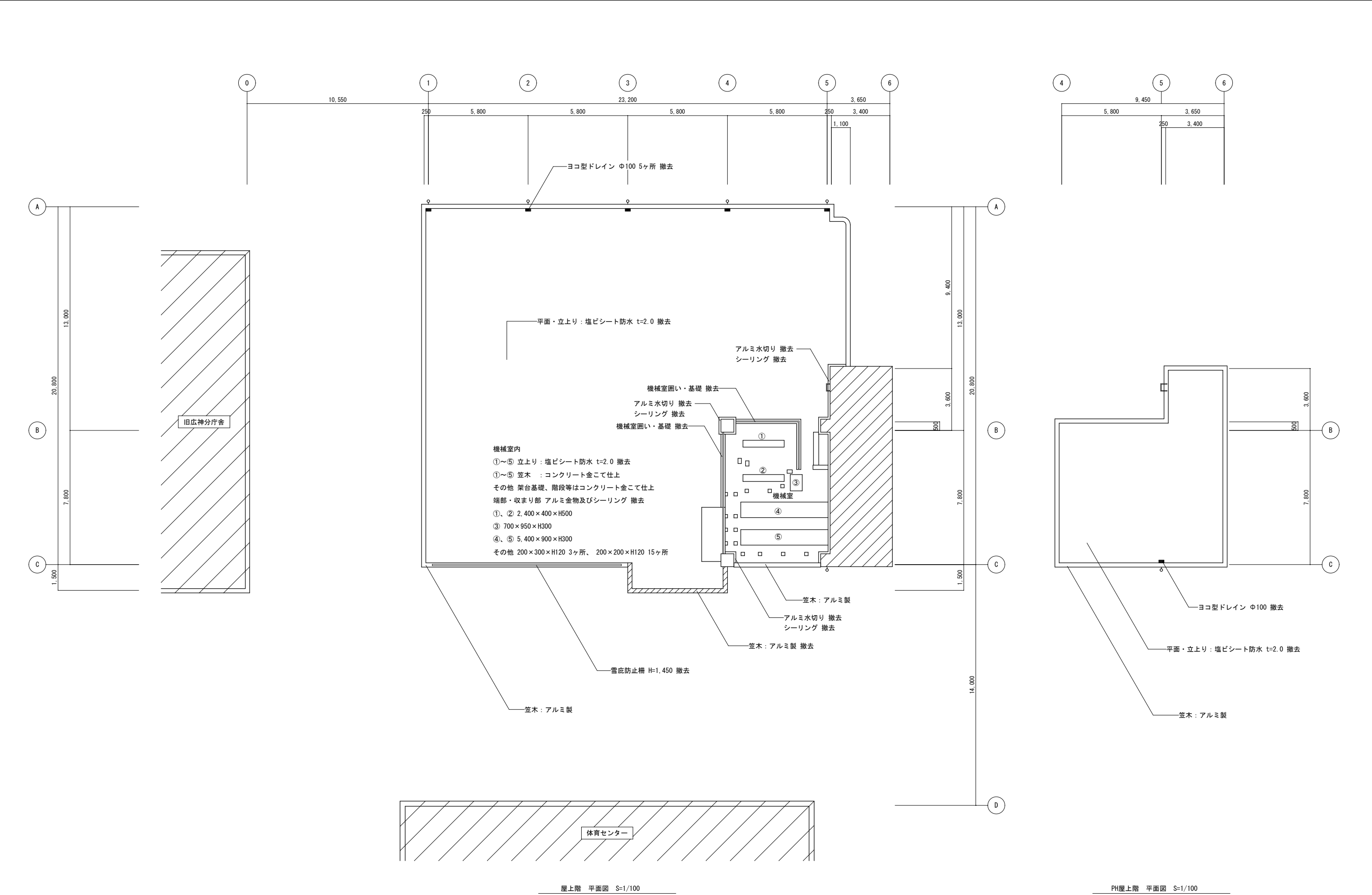
変更			<div><div></div><div>一級建築士事務所 新潟県知事登録 (リ) 1359号 <b>株式会社 関矢設計事務所</b> 郵便番号 946-0111 新潟県魚沼市並柳182番地 TEL 025-799-2122</div></div>	<div><div>管理建築士 一級建築士 第228811号 関矢 茂 信</div></div>	工事名称 広神コミュニティセンター屋上防水及び雪庇防止等改修工事 図面名称 配置図 案内図	年月日 2021 12	図面番号 9 / 18
					縮尺 A 1 版 S=1/300	A 3 版 S=1/600	電 機
							構 機

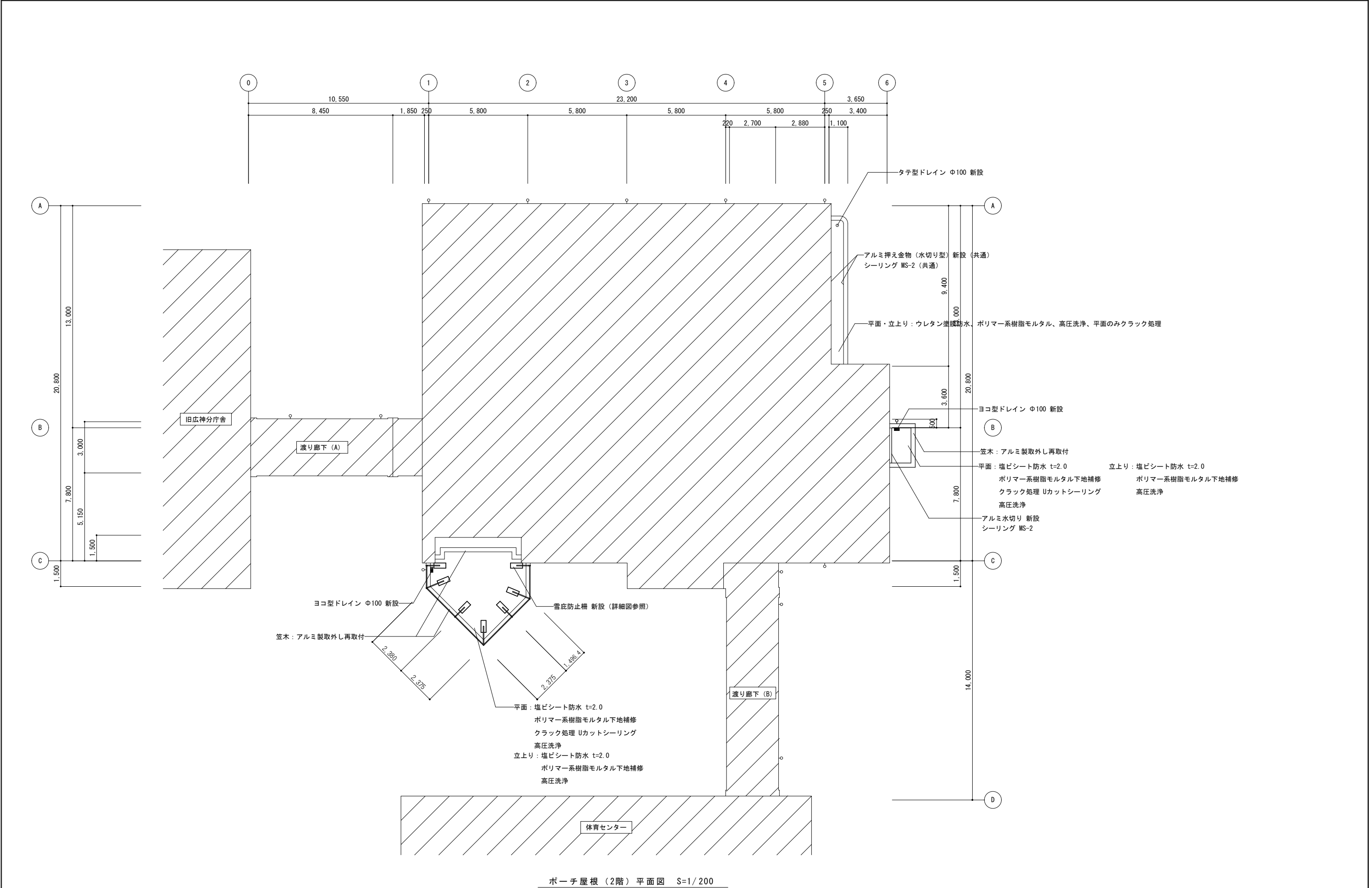


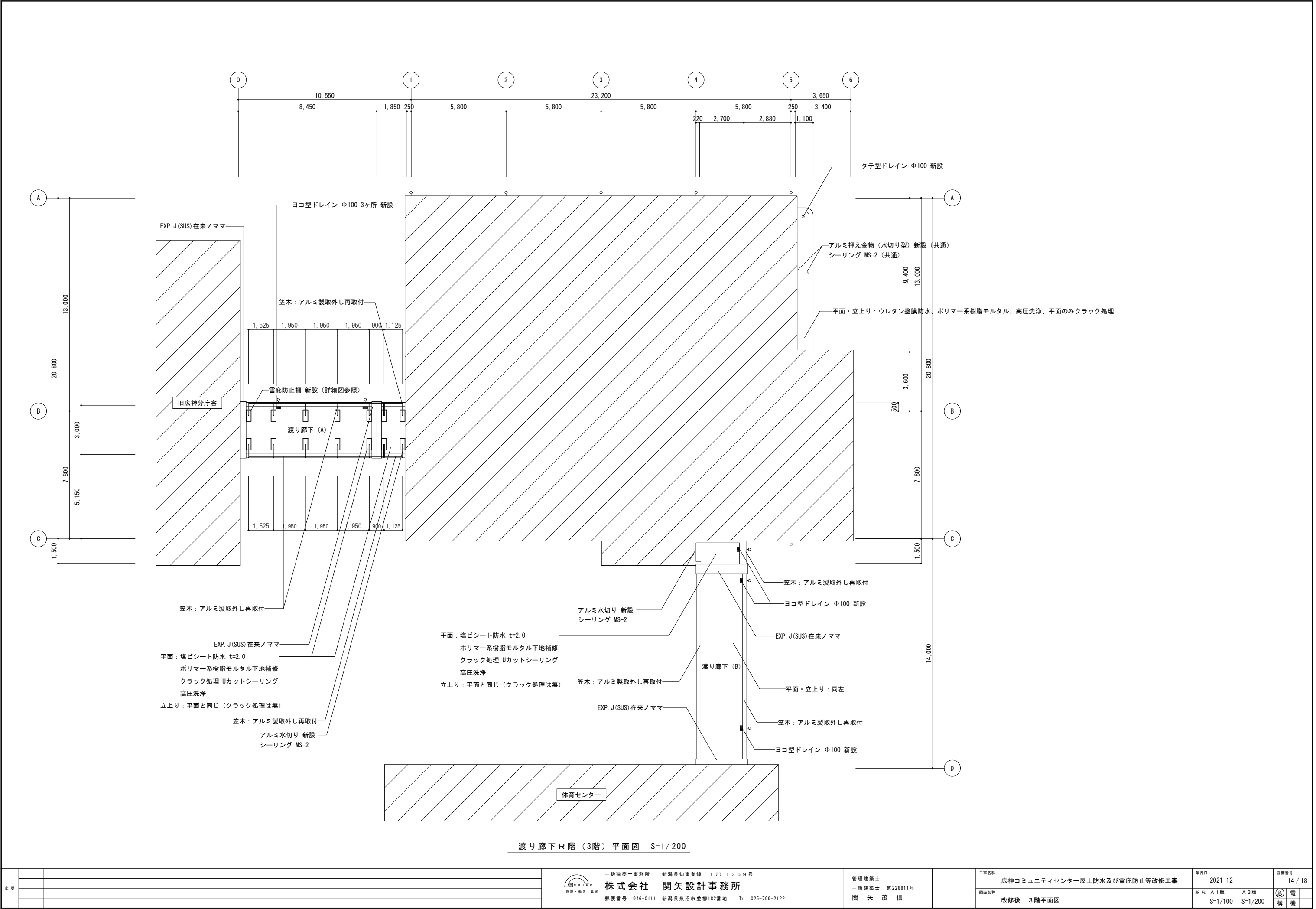
ポーチ屋根（2階） 平面図

資 更			<div><div></div><div>一級建築士事務所 株式会社 関矢設計事務所 郵便番号 946-0111 新潟県魚沼市並柳182番地 TEL 025-799-2122</div></div>	<div>管理建築士 一級建築士 第228811号 関 矢 茂 信</div>	工事名称	広神コミュニティセンター屋上防水及び雪庇防止等改修工事	年月日	2021 12	図面番号	10 / 18
	図面名称	現況 2階平面図			縮 尺	A 1 版 S=1/100	A 3 版 S=1/200	<div><div><div><div>意</div></div><div><div>電</div></div></div><div><div>構</div></div><div><div>機</div></div></div>		



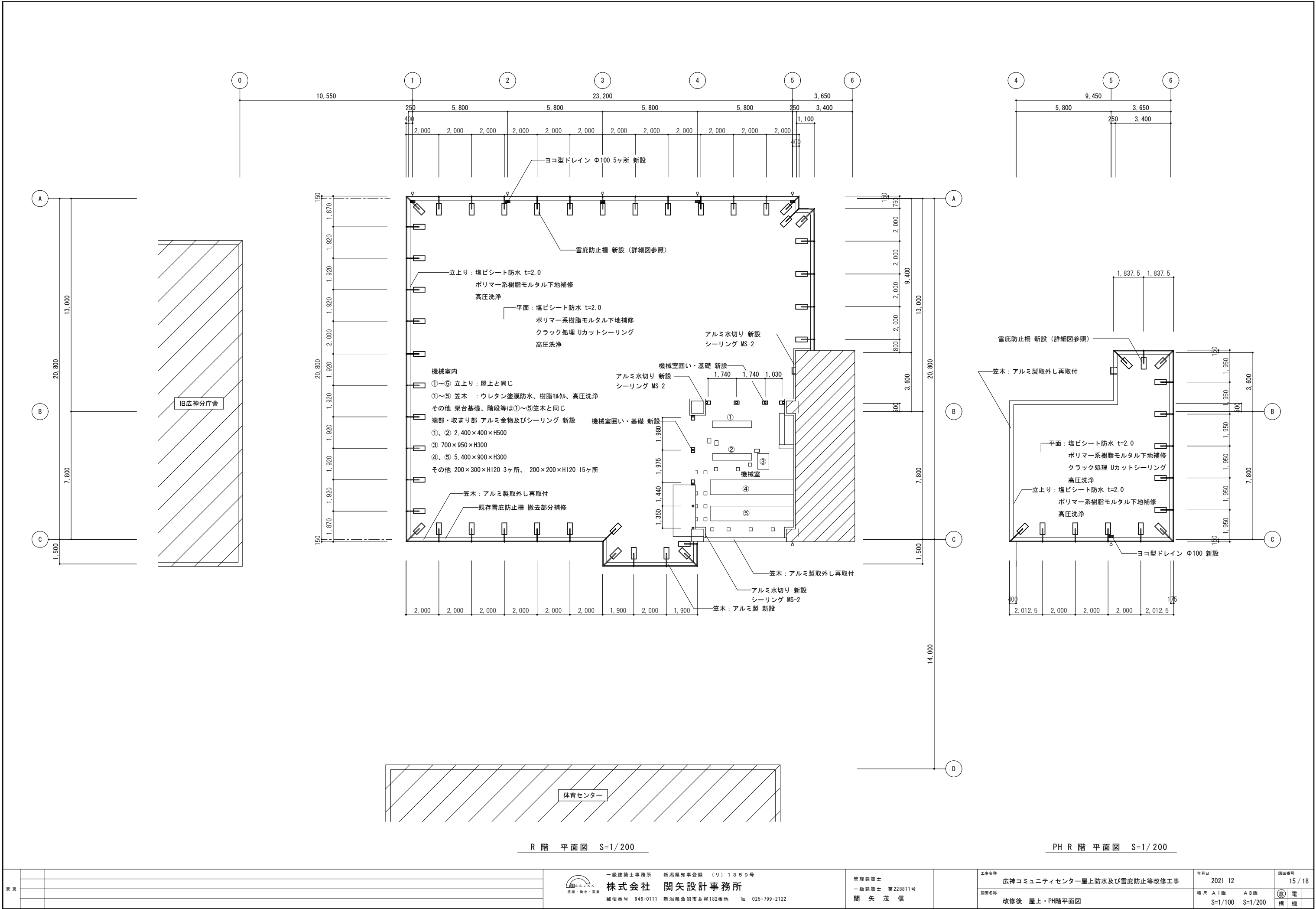






渡り廊下 R 階（3階）平面図 S=1/200

変更		<div><div><div></div></div><div>超SUSUKI</div><div>信頼・安全・真実</div></div> <div>一級建築士事務所 新潟県知事登録 (リ) 1359号 株式会社 関矢設計事務所 郵便番号 946-0111 新潟県魚沼市並柳182番地 電 025-799-2122</div>	<div>管理建築士 一級建築士 第228811号 関 矢 茂 信</div>		工事名称	広神コミュニティセンター屋上防水及び雪庇防止等改修工事		年月日	2021 12		図面番号	14 / 18	
						図面名称	改修後 3階平面図		縮尺	A1版 S=1/100	A3版 S=1/200	⑧ 電	
												構	機



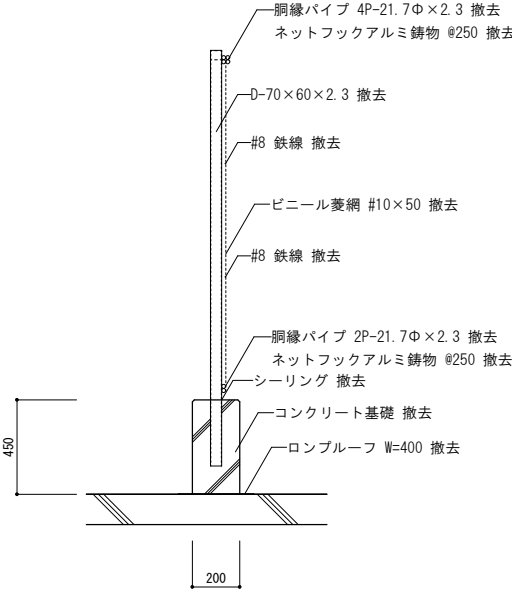
変更			<div>一級建築士事務所 新潟県知事登録 (リ) 1359号 <b>株式会社 関矢設計事務所</b> 郵便番号 946-0111 新潟県魚沼市並柳182番地 TEL 025-799-2122</div>	<div>管理建築士 一級建築士 第228811号 関 矢 茂 信</div>	工事名称 広神コミュニティセンター屋上防水及び雪庇防止等改修工事	年月日 2021 12	図面番号 15 / 18
						縮尺 A1版 A3版	電
						S=1/100 S=1/200	構 機
						改修後 屋上・PH階平面図	



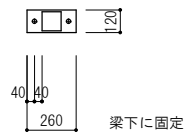
現況 屋上階 防水収まり詳細図 S=1/20				改修後 屋上階 防水収まり詳細図 S=1/20			
現況 PH屋上階 防水収まり詳細図 S=1/20				改修後 PH屋上階 防水収まり詳細図 S=1/20			
現況 ポーチ屋根 防水収まり詳細図 S=1/20				改修後 ポーチ屋根 防水収まり詳細図 S=1/20			
現況 南側出入口屋根 防水収まり詳細図 S=1/20				改修後 南側出入口屋根 防水収まり詳細図 S=1/20			
現況 渡り廊下（A）・（B）屋根 防水収まり詳細図 S=1/20				改修後 渡り廊下（A）・（B）屋根 防水収まり詳細図 S=1/20			
現況 アルミ水切り収まり詳細図 S=1/20				改修後 アルミ水切り収まり詳細図 S=1/20			
現況 アルミ押え金物（水切り型）収まり詳細図 S=1/20				改修後 アルミ押え金物（水切り型）収まり詳細図 S=1/20			
現況 アルミ水切り収まり詳細図 S=1/20				改修後 アルミ水切り収まり詳細図 S=1/20			
現況 アルミ押え金物（水切り型）収まり詳細図 S=1/20				改修後 アルミ押え金物（水切り型）収まり詳細図 S=1/20			

一級建築士事務所 株式会社 関矢設計事務所 郵便番号 946-0111 新潟県魚沼市並柳182番地 Ⅸ 025-799-2122		管理建築士 一級建築士 第228811号 関 矢 茂 信		工事名称 広神コミュニティセンター屋上防水及び雪底防止等改修工事		年月日 2021 12	図面番号 16 / 18
図面名称 現況・改修後 防水収まり詳細図		縮尺 A1版 A3版 S=1/20 S=1/40		電 機 構 機			

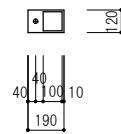




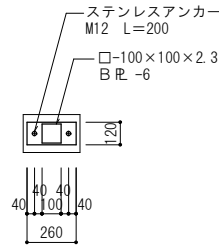
現況 機械室囲い・基礎詳細図 S=1/20



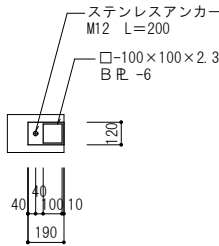
柱頭（標準）



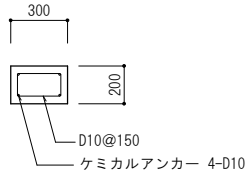
柱頭（端部）



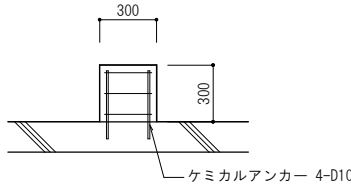
柱脚（標準）



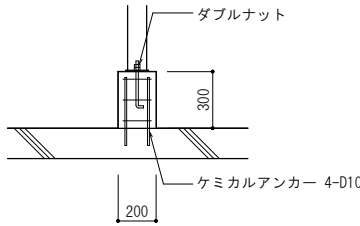
柱脚（端部）



基礎配筋（平面）



基礎配筋（断面）



基礎配筋、柱脚（断面）

改修後 機械室囲い詳細図 S=1/20

改修後 機械室囲い・基礎詳細図 S=1/20